

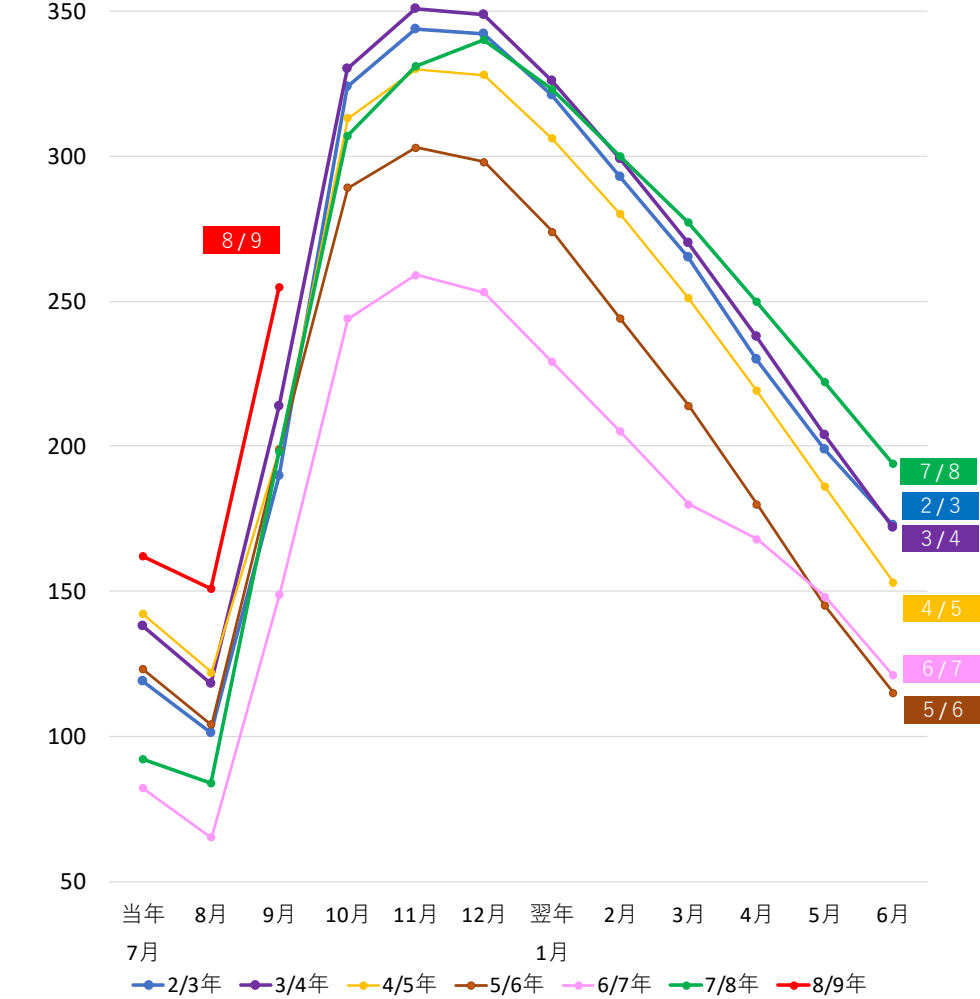
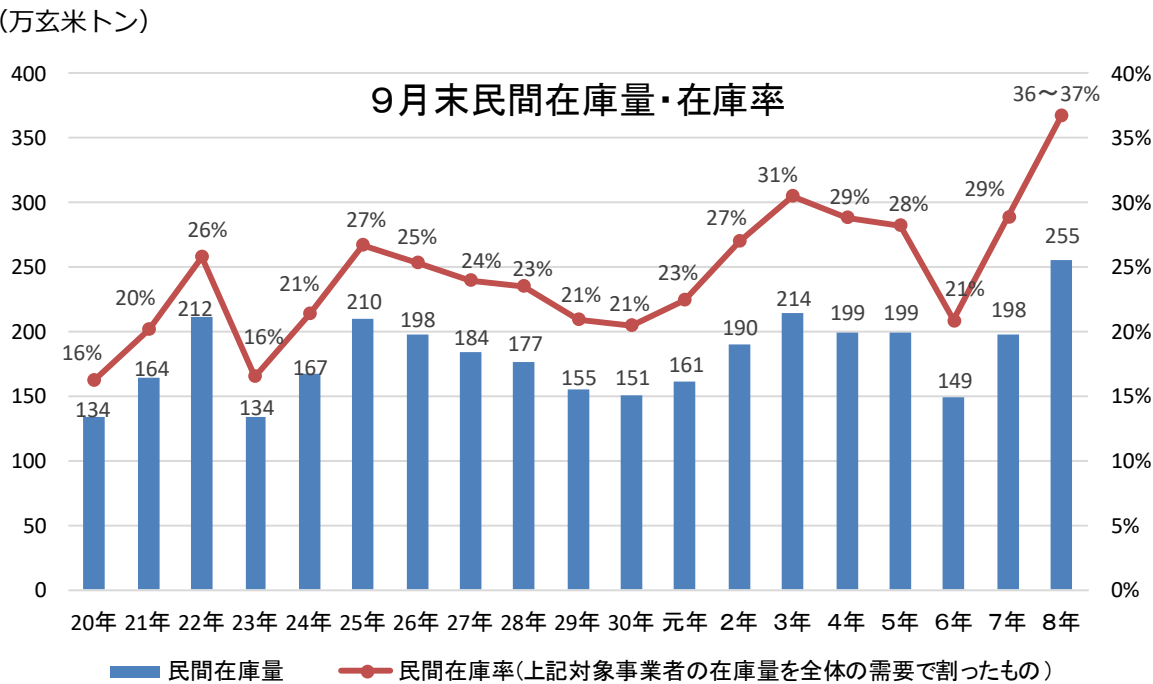
令和8年9月末民間在庫量のポイント

- 令和8年9月末の民間在庫量は対前年同月+58万玄米トンの255万玄米トンと、最も高い在庫水準。
- 段階別にみると、出荷段階は206万玄米トン、販売段階は50万玄米トンとなった。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）
(万玄米トン)

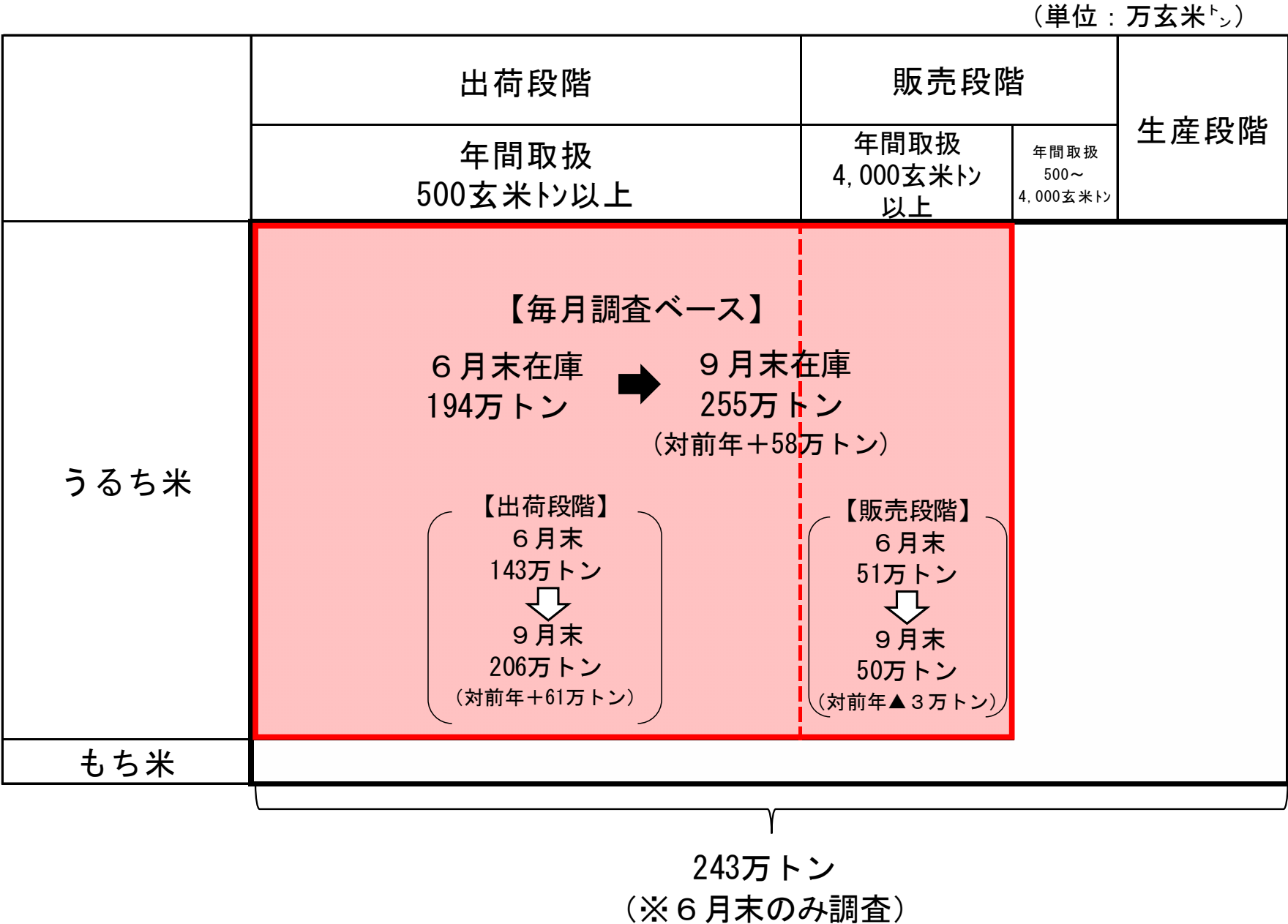
	出荷段階	販売段階	合計
7年9月末	144	53	198
前年差	+32	+17	+49
8年9月末	206	50	255
前年差	+61	▲ 3	+58

○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）
(万玄米トン)



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。
※令和8年の在庫率は、8/9年の需要見通し（695～712万玄米トン）により算出。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲



※毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の出荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。
およそ民間の流通在庫全体の80%（194万トン）をカバー。